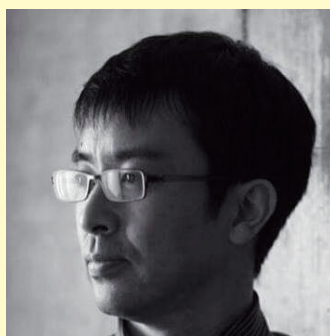


神学者・リベルタス舎主宰

福島 揚 Yo Fukushima

東京大学大学院博士課程修了（倫理学専攻）。チュービンゲン大学神学部を経て、ハイデルベルク大学神学部にて神学博士号（Dr.theol.）取得。現在、立教大学大学院・無教会研修所・東京神学大学・日本聖書神学校にて講師。日本基督教学会（編集委員）・日本倫理学会・日本宗教学会・比較思想学会・宗教倫理学会等に所属。

著書：『カール・バルト 未来学としての神学』（日本基督教団出版局、2018年）、『カール・バルト 破局のなかの希望』（おねうま舎、2015年）。翻訳：ユルゲン・モルトマン『希望の倫理』（新教出版社、2016年）。共著：『支配の政治理論』（社会評論社、2018年）他。



連続講座

国家・資本・エコロジー キリスト教で読みとく

Understanding State, Capital, and Ecology through Christianity

今日、私たちは貧富差の極大化・生態系破壊・戦争という、これまで人類が経験したことのない三重の地球規模の危機に直面しています。しかし危機は同時に、人間が自身と世界にたいする関わり方を根本的に変革する好機でもあります。私たちが新しい生き方と社会を創造するために、聖書とキリスト教がどのような未来へのヴィジョンを提供しうるかを探っていきます。

第1回 2019年5月19日(日)

危機に甦るキリスト教の意義～未来学としてのキリスト教入門

第2回 2019年6月22日(土)

虐げられた者の解放～ナザレのイエスがもたらしたもの

第3回 2019年8月10日(土)

キリストの《復活》は現代人にとって何を意味するか

第4回 2019年9月7日(土)

《地上の国》か《天の国》か～国家とキリスト教の相克

第5回 2019年10月

金と神～ポスト資本主義のためのキリスト教

第6回 2019年11月9日～10日(一泊二泊)

土(アダマール)と人間(アダム)～エコロジーとキリスト教

八ヶ岳でのキリスト教講座&エコロジーツアー

松原湖バイブルキャンプ泊。柳生博氏(日本野鳥の会会長、八ヶ岳倶楽部)の講演あり。

会場

東京堂書店 東京堂ホール(東京堂書店6階)
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目17番地
東京堂神保町第一ビルディング6階

時間

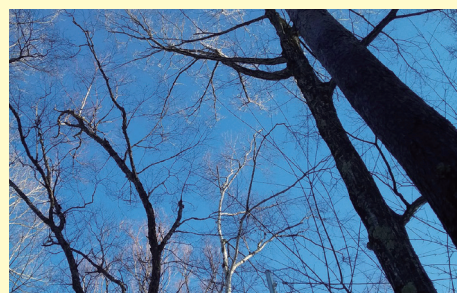
14:30～16:30 開場:14:15

受講料

第1回～第5回 各2500円(含資料代) 学生割引 各1500円
※第1回～第5回を通して申し込まれた方は、1講座分を割引いたします。
第6回 詳細は追ってお知らせいたします。

申込方法

裏面をご覧ください。



2019年3月5日 版 主催：合同会社ヘウレーカ